

2026年6月8日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

長野県内における系統用蓄電所の建設工事開始について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）は、戦略子会社の SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL みらいパートナーズ」）が、株式会社藤巻建設（代表取締役：藤巻 篤、以下「藤巻建設」）、東芝プラントシステム株式会社（代表取締役：小西 崇夫、以下「東芝プラントシステム」）との共同出資により合同会社 OPTIRON 北信を設立し、系統用蓄電池事業（以下「本事業」）を開始するために建設工事に着工したことをお知らせします。

本事業は、長野県下高井郡（木島平蓄電所）と長野県飯山市（蓮蓄電所）の2カ所に蓄電所を新設するものです。木島平蓄電所は出力約 52MW、容量約 160MWh で、2026年6月に建設工事に着工しました。蓮蓄電所は出力約 32MW、容量約 90MWh で、2026年8月に建設工事に着工する予定です。なお、両蓄電所の運転開始は 2028年度を予定しています。

本件協働にあたり、2023年に事業用地を選定し、約3年間にわたってプロジェクト開発を行ってまいりました。2026年3月、3社は EPC 契約をはじめとする各プロジェクト関連契約およびノンリコースプロジェクトファイナンスの融資関連契約の締結に至りました。SMFL みらいパートナーズは、接続検討申込、ノンリコースプロジェクトファイナンスの調達支援、およびアセットマネージャーとして SPC の運営管理を担います。藤巻建設は、事業用地の権利確保、地域との合意形成や行政協議、および地盤調査等の土木設計に関する支援を担います。東芝プラントシステムは、電力会社への申請業務および各種技術協議に関する助勢を担います。

本事業は、系統用蓄電池を送配電ネットワークに直接接続し、時間帯に応じて各電力市場への充放電を行う市場運用型事業です。天候や時間帯によって発電量が変動する再生可能エネルギーを安定的に供給するための調整機能を担うことで、電力系統の安定化や再生可能エネルギーの導入拡大に貢献してまいります。

SMFL グループは、再生可能エネルギーや省エネ機器の設備投資におけるファイナンスサービスや、太陽光・風力・水力・バイオマスなどの再生可能エネルギー事業を通じた CO₂ フリー電力の供給、脱炭素に関する補助金支援サービスなどの事業を展開しています。今後も、お客さまの脱炭素経営を支援するため、さまざまなソリューションをワンストップで提供することで、持続可能な社会の実現を目指します。

【木島平蓄電所 完成予想図】



木島平 蓄電所建設工事全体イメージ

【蓮蓄電所 完成予想図】



蓮蓄電所建設工事全体イメージ

【蓄電所概要】

事業主体	合同会社 OPTIRON 北信	
出資者・出資比率 および各社役割	SMFL みらいパートナーズ株式会社：61% (事業主体、接続検討申込、資金調達、SPC の運営管理) 株式会社藤巻建設：34% (事業用地の権利確保、地域・行政協議対応、土木設計のサポート) 東芝プラントシステム株式会社：5% (電力対応・技術協議のサポート)	
設備諸元	リチウムイオン電池	
EPC	東芝プラントシステム株式会社	
アグリゲーター	株式会社東芝	
①	蓄電所名	木島平蓄電所
	蓄電出力/容量	52.45MW / 160.48MWh
	着工	2026 年 6 月
	運転開始 (予定)	2028 年度
②	蓄電所名	蓮蓄電所
	蓄電出力/容量	31.95MW / 90.27MWh
	着工 (予定)	2026 年 8 月
	運転開始 (予定)	2028 年度

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社

広報 IR 部

宗形

TEL 03-5219-6334